

出願人代理人

宮田 金雄

あて名

〒 100-8310

東京都千代田区丸の内2-2-3 三菱電機株式会社 法務・知的財産権本部



PCT

国際調査報告又は国際調査報告を作成しない旨の決定の送付の通知書

(法施行規則第41条)  
〔PCT規則44.1〕

出願人又は代理人 の書類記号	512864 WO 01	発送日 (日、月、年)	22.12.98
国際出願番号	PCT/JP98/04391	国際出願日 (日、月、年)	30.09.98
出願人（氏名又は名称） 三菱電機株式会社	今後の手続きについては、下記1及び4を参照。		

1.  国際調査報告が作成されたこと、及びこの送付書とともに送付することを、出願人に通知する。  
PCT 19条の規定に基づく補正書及び説明書の提出  
出願人は、国際出願の請求の範囲を補正することができる（PCT規則46参照）。  
いつ 補正書の提出期間は、通常国際調査報告の送付の日から2月である。  
詳細については添付用紙の備考を参照すること。  
どこへ 直接次の場所へ  
The International Bureau of WIPO  
34, chemin des Colombettes  
1211 Geneva 20, Switzerland  
Facsimile No.: (41-22) 740.14.35  
詳細な手続については、添付用紙の備考を参照すること。

2.  国際調査報告が作成されないこと、及び法第8条第2項（PCT 17条(2)(a)）の規定による国際調査報告を作成しない旨の決定をこの送付書とともに送付することを、出願人に通知する。

3.  法施行規則第44条（PCT規則40.2）に規定する追加手数料の納付に対する異議の申立てに関して、出願人に下記の点を通知する。  
 異議の申立てと当該異議についての決定を、その異議の申し立てと当該異議についての決定の両方を指定官庁へ送付することを求める出願人の請求とともに、国際事務局へ送付した。  
 当該異議についての決定は、まだ行われていない。決定されしだい出願人に通知する。

4. 今後の手続： 出願人は次の点に注意すること。  
優先日から18月経過後、国際出願は国際事務局によりすみやかに国際公開される。出願人が公開の延期を望むときは、国際出願又は優先権の主張の取下げの通知がPCT規則90の2.1及び90の2.3にそれぞれ規定されているよう、国際公開の事務的な準備が完了する前に国際事務局に到達しなければならない。  
出願人が優先日から3ヶ月まで（官庁によってはもっと遅く）国内段階の開始を延期することを望むときは、優先日から19ヶ月以内に、国際予備審査の請求書が提出されなければならない。  
国際予備審査の請求書若しくは、後にする選択により優先日から19箇月以内に選択しなかった又は第II章に拘束されないため選択できなかったすべての指定官庁に対しては優先日から20ヶ月以内に、国内段階の開始のための所定手続を取らなければならない。

名称及びあて名 日本国特許庁（ISA/JP） 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	権限のある職員 特許庁長官	5J	4239
	電話番号 03-3581-1101 内線 6562		

## 注 意

1. 国際調査報告の発送日から起算する条約第19条(1)及び規則46.1に従う国際事務局への補正期間に注意してください。
2. 条約22条(2)に規定する期間に注意してください。
3. 文献の写しの請求について

### 国際調査報告に記載した文献の複写

特許庁にこれらの引用文献の写しを請求することができますが、日本特許情報機構でもこれらの引用文献の複写物を販売しています。日本特許情報機構に引用文献の複写物を請求する場合は下記の点に注意してください。

#### [申込方法]

- (1) 特許(実用新案・意匠)公報については、下記の点を明記してください。
  - 特許・実用新案及び意匠の種類
  - 出願公告又は出願公開の年次及び番号(又は特許番号、登録番号)
  - 必要部数
- (2) 公報以外の文献の場合は、下記の点に注意してください。
  - 国際調査報告の写しを添付してください(返却します)。

#### [申込み及び照会先]

〒135 東京都江東区東陽4-1-7 佐藤ダイヤビル  
財団法人 日本特許情報機構 サービス課  
TEL 03-5690-3900

注意 特許庁に対して文献の写しの請求をすることができる期間は、国際出願日から7年です。

## 様式PCT/ISA/220の備考

この備考は、PCT19条の規定に基づく補正書の提出に関する基本的な指示を与えるためのものである。この備考は特許協力条約並びにこの条約に基づく規則及び実施細則の規定に基づいている。この備考とそれらの規定とが相違する場合には、後者が適用される。詳細な情報については、WIPOの出版物であるPCT出願人の手引も参照すること。

### PCT19条の規定に基づく補正書の提出に関する指示

出願人は、国際調査報告を受領した後、国際出願の請求の範囲を補正する機会が一回ある。しかし、国際出願のすべての部分（請求の範囲、明細書及び図面）が、国際予備審査の手続きにおいても補正できるもので、例えば出願人が仮保護のために補正書を公開することを希望する場合又は国際公開前に請求の範囲を補正する別の理由がある場合を除き、通常PCT19条の規定に基づく補正書を提出する必要はないことを強調しておく。さらに、仮保護は一部の国のみで与えられるだけであることも強調しておく。

#### 補正の対象となるもの

PCT19条の規定により請求の範囲のみ補正することができる。

国際段階においてPCT34条の規定に基づく国際予備審査の手続きにおいて請求の範囲を（更に）補正することができる。

明細書及び図面は、PCT34条の規定に基づく国際予備審査の手続きにおいてのみ補正することができる。

国内段階に移行する際、PCT28条（又はPCT41条）の規定により、国際出願のすべての部分を補正することができる。

いつ

国際調査報告の送付の日から2月又は優先日から16月の内どちらか遅く満了するほうの期間内。しかし、その期間の満了後であっても国際公開の技術的な準備の完了前に国際事務局が補正を受領した場合には、その補正書は、期間内に受理されたものとみなすことを強調しておく（PCT規則46.1）。

#### 補正書を提出すべきところ

補正書は、国際事務局のみに提出でき、受理官庁又は国際調査機関には提出してはいけない（PCT規則46.2）。国際予備審査の請求書を出した／する場合については、以下を参照すること。

#### どのように

1以上の請求の範囲の削除、1以上の新たな請求の範囲の追加、又は1以上の請求の範囲の記載の補正による。

差替え用紙は、補正の結果、出願当初の用紙と相違する請求の範囲の各用紙毎に提出する。

差替え用紙に記載されているすべての請求の範囲には、アラビア数字を付さなければならない。請求の範囲を削除する場合、その他の請求の範囲の番号を付け直す必要はない。請求の範囲の番号を付け直す場合には、連続番号で付け直さなければならない（PCT実施細則第205号（b））。

補正是国際公開の言語で行う。

#### 補正書にどのような書類を添付しなければならないか

##### 書簡（PCT実施細則第205号（b））

補正書には書簡を添付しなければならない。

書簡は国際出願及び補正された請求の範囲とともに公開されることはない。これを「PCT19条（1）に規定する説明書」と混同してはならない（「PCT19条（1）に規定する説明書」については、以下を参照）。

書簡は、英語又は仏語を選択しなければならない。ただし、国際出願の言語が英語の場合、書簡は英語で、仏語の場合、書簡は仏語で記載しなければならない。

書簡には、出願時の請求の範囲と補正された請求の範囲との相違について表示しなければならない。特に、国際出願に記載した各請求の範囲との関連で次の表示（2以上の請求の範囲についての同一の表示する場合は、まとめることができる。）をしなければならない。

- (i) この請求の範囲は変更しない。
- (ii) この請求の範囲は削除する。
- (iii) この請求の範囲は追加である。
- (iv) この請求の範囲は出願時の1以上の請求の範囲と差し替える。
- (v) この請求の範囲は出願時の請求の範囲の分割の結果である。

## 様式PCT/ISA/220の備考（続き）

次に、添付する書簡中での、補正についての説明の例を示す。

1. [請求の範囲の一部の補正によって請求の範囲の項数が48から51になった場合]：“請求の範囲1-29、31、32、34、35、37-48項は、同じ番号のもとに補正された請求の範囲と置き換えられた。請求の範囲30、33及び36項は変更なし。新たに請求の範囲49-51項が追加された。”
2. [請求の範囲の全部の補正によって請求の範囲の項数が15から11になった場合]：“請求の範囲1-15項は、補正された請求の範囲1-11項に置き換えられた。”
3. [原請求の範囲の項数が14で、補正が一部の請求の範囲の削除と新たな請求の範囲の追加を含む場合]：“請求の範囲1-6及び14項は変更なし。請求の範囲7-13は削除。新たに請求の範囲15、16及び17項を追加。”又は“請求の範囲7-13は削除。新たに請求の範囲15、16及び17項を追加。その他の全ての請求の範囲は変更なし。”
4. [各種の補正がある場合]：“請求の範囲1-10項は変更なし。請求の範囲11-13、18及び19項は削除。請求の範囲14、15及び16項は補正された請求の範囲14項に置き換えられた。請求の範囲17項は補正された請求の範囲15、16及び17項に分割された。新たに請求の範囲20及び21項が追加された。”

### “PCT19条(1)の規定に基づく説明書”（PCT規則46.4）

補正書には、補正並びにその補正が明細書及び図面に与える影響についての説明書を提出することができる（明細書及び図面はPCT19条(1)の規定に基づいては補正できない）。

説明書は、国際出願及び補正された請求の範囲とともに公開される。

説明書は、国際公開の言語で作成しなければならない。

説明書は、簡潔でなければならず、英語の場合又は英語に翻訳した場合に500語を越えてはならない。

説明書は、出願時の請求の範囲と補正された請求の範囲との相違を示す書簡と混同してはならない。説明書を、その書簡に代えることはできない。説明書は別紙で提出しなければならず、見出しを付すものとし、その見出しは“PCT19条(1)の規定に基づく説明書”の語句を用いることが望ましい。

説明書には、国際調査報告又は国際調査報告に列記された文献との関連性に関して、これらを誹謗する意見を記載してはならない。国際調査報告に列記された特定の請求の範囲に関連する文献についての言及は、当該請求の範囲の補正に関するのみ行うことができる。

### 国際予備審査の請求書が提出されている場合

PCT19条の規定に基づく補正書及び添付する説明書の提出の時に国際予備審査の請求書が既に提出されている場合には、出願人は、補正書（及び説明書）を国際事務局に提出すると同時にその写し及び必要な場合、その翻訳文を国際予備審査機関にも提出することが望ましい（PCT規則55.3(a)、62.2の第1文を参照）。詳細は国際予備審査請求書（PCT/IPEA/401）の注意書参照。

### 国内段階に移行するための国際出願の翻訳に関して

国内段階に移行する際、PCT19条の規定に基づいて補正された請求の範囲の翻訳を出願時の請求の範囲の翻訳の代わりに又は追加して、指定官庁／選択官庁に提出しなければならないこともあるので、出願人は注意されたい。

指定官庁／選択官庁の詳細な要求については、PCT出願人の手引きの第II巻を参照。

## 特許協力条約

PCT

## 国際調査報告

(法8条、法施行規則第40、41条)  
[PCT18条、PCT規則43、44]

出願人又は代理人 の書類記号 512864W001	今後の手続きについては、国際調査報告の送付通知様式(PCT/ISA/220)及び下記5を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP98/04391	国際出願日 (日.月.年) 30.09.98	優先日 (日.月.年)
出願人(氏名又は名称) 三菱電機株式会社		

国際調査機関が作成したこの国際調査報告を法施行規則第41条(PCT18条)の規定に従い出願人に送付する。この写しは国際事務局にも送付される。

この国際調査報告は、全部で 3 ページである。

この調査報告に引用された先行技術文献の写しも添付されている。

## 1. 国際調査報告の基礎

- a. 言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願がされたものに基づき国際調査を行った。
  - この国際調査機関に提出された国際出願の翻訳文に基づき国際調査を行った。
- b. この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでおり、次の配列表に基づき国際調査を行った。
  - この国際出願に含まれる書面による配列表
  - この国際出願と共に提出されたフレキシブルディスクによる配列表
  - 出願後に、この国際調査機関に提出された書面による配列表
  - 出願後に、この国際調査機関に提出されたフレキシブルディスクによる配列表
  - 出願後に提出した書面による配列表が出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。
  - 書面による配列表に記載した配列とフレキシブルディスクによる配列表に記録した配列が同一である旨の陳述書の提出があった。

2.  請求の範囲の一部の調査ができない(第I欄参照)。

3.  発明の単一性が欠如している(第II欄参照)。

4. 発明の名称は  出願人が提出したものと承認する。

次に示すように国際調査機関が作成した。

5. 要約は  出願人が提出したものと承認する。

第III欄に示されているように、法施行規則第47条(PCT規則38.2(b))の規定により国際調査機関が作成した。出願人は、この国際調査報告の発送の日から1ヶ月以内にこの国際調査機関に意見を提出することができる。

6. 要約書とともに公表される図は、  
第 1 図とする。  出願人が示したとおりである。

なし

出願人は図を示さなかった。

本図は発明の特徴を一層よく表している。

特許協力条約に基づく国際出願  
願書

出願人は、この国際出願が特許協力条約に従って  
処理されることを請求する。

国際出願番号	受理官庁記入欄 <b>PCT</b>
国際出願日	30.9.98
(受付印)	受領印
出願人又は代理人の書類記号 (希望する場合は最大 12 字) 512864WO01	

**第Ⅰ欄 発明の名称**

T DMA 無線通信方式並びに無線通信を行う基地局装置及び加入者局装置

**第Ⅱ欄 出願人**

氏名(名称)及びあて名: (姓・名の順に記載; 法人は公式の完全な名称を記載; あて名は郵便番号及び国名も記載)

三菱電機株式会社  
MITSUBISHI DENKI KABUSHIKI KAISHA

〒100-8310 日本国東京都千代田区丸の内二丁目2番3号  
2-3, Marunouchi 2-Chome, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8310 JAPAN

<input type="checkbox"/> この欄に記載した者は、 発明者である。
電話番号: 03-3213-3421
ファクシミリ番号: 03-3218-2460
加入電話番号:

国籍(国名): 日本国 JAPAN 住所(国名): 日本国 JAPAN

この欄に記載した者は、次の指定国についての出願人である:

すべての指定国  米国を除く全ての指定国  米国のみ  追記欄に記載した指定国

**第Ⅲ欄 その他の出願人又は発明者**

氏名(名称)及びあて名: (姓・名の順に記載; 法人は公式の完全な名称を記載; あて名は郵便番号及び国名も記載)

浜田倫一 HAMADA Tomokazu

〒100-8310 日本国東京都千代田区丸の内二丁目2番3号

三菱電機株式会社内

c/o Mitsubishi Denki Kabushiki Kaisha

2-3, Marunouchi 2-Chome, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8310 JAPAN

この欄に記載した者は 次に該当する:
<input type="checkbox"/> 出願人のみである
<input checked="" type="checkbox"/> 出願人及び発明者である
<input type="checkbox"/> 発明者のみである (ここにレ印を付したときは、以下に記入しないこと)

国籍(国名): 日本国 JAPAN 住所(国名): 日本国 JAPAN

この欄に記載した者は、次の指定国についての出願人である:

すべての指定国  米国を除くすべての指定国  米国のみ  追記欄に記載した指定国

その他の出願人又は発明者が統轄に記載されている。

**第Ⅳ欄 代理人又は共通の代表者、通知のあて名**

次に記載された者は、国際機関において出願人のために行動する:  代理人  共通の代表者

氏名(名称)及びあて名: (姓・名の順に記載; 法人は公式の完全な名称を記載; あて名は郵便番号及び国名も記載)

10243 弁理士 宮田 金雄 MIYATA Kaneo

10389 弁理士 家入 健 IEIRI Takeshi

9246 弁理士 高瀬 耀平 TAKASE Yahci

〒100-8310 日本国東京都千代田区丸の内二丁目2番3号

三菱電機株式会社内

c/o Mitsubishi Denki Kabushiki Kaisha

2-3, Marunouchi 2-Chome, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8310 JAPAN

電話番号:  
03-3213-3421

ファクシミリ番号:  
03-3218-2460

加入電信番号:

代理人又は共通の代表者が選任されておらず、上記枠内に特に通知が送付されるあて名を記載している場合は、レ印を付す

## 第III欄の続き その他の出願人又は発明者

この統査を使用しないときは、この用紙を顎書に含めないこと。

氏名（名称）及びあて名：（姓・名の順に記載；法人は公式の完全な名称を記載；あて名は郵便番号及び国名も記載）

森 谷 陽一 MORITANI Youichi

〒100-8310 日本国東京都千代田区丸の内二丁目2番3号

三菱電機株式会社内

c/o Mitsubishi Denki Kabushiki Kaisha

2-3, Marunouchi 2-Chome, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8310 JAPAN

この欄に記載したものは  
次に該当する：

出願人のみである  
 出願人及び発明者である  
 発明者のみである  
 (ここにレ印を付したときは、以下に記入しないこと)

国籍（国名）：

日本国 JAPAN

住所（国名）：

日本国 JAPAN

この欄に記載した者は、次の指定国についての出願人である：

すべての指定国  米国を除くすべての指定国  米国のみ  追記欄に記載した指定国

氏名（名称）及びあて名：（姓・名の順に記載；法人は公式の完全な名称を記載；あて名は郵便番号及び国名も記載）

川 端 孝 史 KAWABATA Takashi

〒100-8310 日本国東京都千代田区丸の内二丁目2番3号

三菱電機株式会社内

c/o Mitsubishi Denki Kabushiki Kaisha

2-3, Marunouchi 2-Chome, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8310 JAPAN

この欄に記載したものは  
次に該当する：

出願人のみである  
 出願人及び発明者である  
 発明者のみである  
 (ここにレ印を付したときは、以下に記入しないこと)

国籍（国名）：

日本国 JAPAN

住所（国名）：

日本国 JAPAN

この欄に記載した者は、次の指定国についての出願人である：

すべての指定国  米国を除くすべての指定国  米国のみ  追記欄に記載した指定国

氏名（名称）及びあて名：（姓・名の順に記載；法人は公式の完全な名称を記載；あて名は郵便番号及び国名も記載）

伊 藤 修 治 ITO Shuji

〒100-8310 日本国東京都千代田区丸の内二丁目2番3号

三菱電機株式会社内

c/o Mitsubishi Denki Kabushiki Kaisha

2-3, Marunouchi 2-Chome, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8310 JAPAN

この欄に記載したものは  
次に該当する：

出願人のみである  
 出願人及び発明者である  
 発明者のみである  
 (ここにレ印を付したときは、以下に記入しないこと)

国籍（国名）：

日本国 JAPAN

住所（国名）：

日本国 JAPAN

この欄に記載した者は、次の指定国についての出願人である：

すべての指定国  米国を除くすべての指定国  米国のみ  追記欄に記載した指定国

氏名（名称）及びあて名：（姓・名の順に記載；法人は公式の完全な名称を記載；あて名は郵便番号及び国名も記載）

この欄に記載したものは  
次に該当する：

出願人のみである  
 出願人及び発明者である  
 発明者のみである  
 (ここにレ印を付したときは、以下に記入しないこと)

国籍（国名）：

住所（国名）：

この欄に記載した者は、次の指定国についての出願人である：

すべての指定国  米国を除くすべての指定国  米国のみ  追記欄に記載した指定国

 その他の出願人又は発明者が統査に記載されている。

## 規則Ⅴ 指定 国の指定

規則 4.9(4) の規定に基づき次の指定を行う（各□に印を付すこと：少なくとも1つの□に印を付すこと）。

## □ 既往申告書

A P A R I P O 特許局 : C I-G ガーナ Ghana, C M ガンビア Gambia, K E ケニア Kenya, L S レソト Lesotho, M W マラウイ Malawi, S D スーダン Sudan, S Z スウェジランド Swaziland, U G ウガンダ Uganda, Z W ジンバブエ Zimbabwe, 及びハラレプロトコルと特許協力条約の締約国である他の国

E A ユーラシア特許局 : A M アルメニア Armenia, A Z アゼルバイジャン Azerbaijan, B Y ベラルーシ Belarus, K C キルギス Kyrgyzstan, K Z カザフスタン Kazakhstan, M D モルドヴァ Republic of Moldova, R U ロシア Russian Federation, T J タジキスタン Tajikistan, T M トルクメニスタン Turkmenistan, 及びユーラシア特許条約と特許協力条約の締約国である他の国

E I P ヨーロッパ特許局 : A T オーストリア Austria, B E ベルギー Belgium, C H and L I スイス及びリヒテンシュタイン Switzerland and Liechtenstein, C Y キプロス Cyprus, D E ドイツ Germany, D K デンマーク Denmark, E S スペイン Spain, F I フィンランド Finland, F R フランス France, G B 英国 United Kingdom, G R ギリシャ Greece, I E アイルランド Ireland, I T イタリア Italy, L U ルクセンブルグ Luxembourg, M C モナコ Monaco, N L オランダ Netherlands, P T ポルトガル Portugal, S E スウェーデン Sweden, 及びヨーロッパ特許条約と特許協力条約の締約国である他の国

O A O A P I 特許局 : B F ブルキナ・ファソ Burkina Faso, B J ベナン Benin, C F 中央アフリカ Central African Republic, C C コンゴ Congo, C I コートジボアール Côte d'Ivoire, C M カメルーン Cameroon, G A ガボン Gabon, G N ギニア Guinea, M J マリ Mali, M R モーリタニア Mauritania, N E ニジェール Niger, S N セネガル Senegal, T D チャード Chad, T G トーゴ Togo, 及びアフリカ的所有権機関のメンバー国と特許協力条約の締約国である他の国（他の履歴の保護又は取扱いを求める場合には点線上に記載する）

## □ 既往申告書（他の種類の保護又は取扱いを求める場合には点線上に記載する）

A L アルバニア Albania .....

A M アルメニア Armenia .....

A T オーストリア Austria .....

A U オーストラリア Australia .....

A Z アゼルバイジャン Azerbaijan .....

B A ボスニア・ヘルツェゴヴィナ Bosnia and Herzegovina .....

B B バルバドス Barbados .....

B C ブルガリア Bulgaria .....

B R ブラジル Brazil .....

B Y ベラルーシ Belarus .....

C A カナダ Canada .....

C-E and I- I スイス及びリヒテンシュタイン Switzerland and Liechtenstein .....

C N 中国 China .....

C U キューバ Cuba .....

C Z チェコ Czech Republic .....

D E ドイツ Germany .....

D K デンマーク Denmark .....

E E エストニア Estonia .....

E S スペイン Spain .....

F I フィンランド Finland .....

G B 英国 United Kingdom .....

G E グルジア Georgia .....

G I-G ガーナ Ghana .....

G M ガンビア Gambia .....

G W ギニア・ビサオ Guinea-Bissau .....

H R クロアチア Croatia .....

H U ハンガリー Hungary .....

I D インドネシア Indonesia .....

I I- イスラエル Israel .....

I S アイスランド Iceland .....

J P 日本 Japan .....

K E ケニア Kenya .....

K G キルギス Kyrgyzstan .....

K R 韓国 Republic of Korea .....

K Z カザフスタン Kazakhstan .....

L C セント・ルシア Saint Lucia .....

L K スリ・ランカ Sri Lanka .....

L R リベリア Liberia .....

L S レソト Lesotho .....

L T リトアニア Lithuania .....

L U ルクセンブルグ Luxembourg .....

L V ラトヴィア Latvia .....

M D モルドヴァ Republic of Moldova .....

M G マダガスカル Madagascar .....

M K マケドニア旧ユーゴースラヴィア共和国 The former Yugoslav Republic of Macedonia .....

M N モンゴル Mongolia .....

M W マラウイ Malawi .....

M X メキシコ Mexico .....

N O ノルウェー Norway .....

N Z ニュー・ジーランド New Zealand .....

P L ポーランド Poland .....

P T ポルトガル Portugal .....

R O ルーマニア Romania .....

R U ロシア Russian Federation .....

S D スーダン Sudan .....

S E スウェーデン Sweden .....

S C シンガポール Singapore .....

S I スロヴェニア Slovenia .....

S K スロ伐キア Slovakia .....

S L シエラ・レオネ Sierra Leone .....

T J タジキスタン Tajikistan .....

T M トルクメニスタン Turkmenistan .....

T R トルコ Turkey .....

T T トリニティ・トバゴ Trinidad and Tobago .....

U A ウクライナ Ukraine .....

U G ウガンダ Uganda .....

U S 米国 United States of America .....

U Z ウズベキスタン Uzbekistan .....

V N ヴィエトナム Viet Nam .....

Y U ユーゴースラヴィア Yugoslavia .....

Z W ジンバブエ Zimbabwe .....

以下の□は、この様式の施行後に特許協力条約の締約国となった国を指定（国内特許のために）するためのものである

.....

.....

.....

.....

最終の指定の宣言：出願人は、上記の指定に加えて、規則 4.9(5) の規定に基づき、特許協力条約の下で認められる他の全ての国の指定を行う。ただし、この宣言から既く前の表示を追記欄にした場合は、指定から除外される。出願人は、これらの追加される指定が確認を条件としていること、並びに优先日から 1 月が経過する前にその確認がなされない場合は、この期間の延長時に、出願人によって取り下げられたものとみなされることを宣言する。（指定の確認は、届出を判定する際に提出と届出手数料及び確定手数料の納付からなる。この確認は、优先日から 1 月以内に受理官へ提出しなければならない。）

## 第VI欄 優先権主張

他の優先権の主張（先の出願）が追記欄に記載されている 

下記の先の出願に基づく優先権を主張する

国名 (その国において又はその国 について出願がされた)	先の出願の出願日 (日.月.年)	先の出願の出願番号	先の出願を受理した官庁名 (広域出願又は国際出願の場合のみ記入)
(1)			
(2)			
(3)			

先の出願の認証謄本が、本件国際出願の受理官庁（日本国特許庁）で発行される場合であつて、優先権書類送付請求書を本件国際出願に添付するときは、次の□に印を付すこと。

上記( )の番号の先の出願のうち、次の( )の番号のものについては、  
出願書類の認証謄本を作成し国際事務局へ送付することを、受理官庁  
(日本国特許庁の長官)に対して請求している。:

## 第VII欄 國際調査機関

## 國際調査機関 (ISA)の選択

ISA/JP

先の調査 上記国際調査機関による別の調査（国際・国際型又はその他）が既に実施又は請求されており、可能な限り当該調査の結果を今回の国際調査の基礎とすることを請求する場合に記入する。先の調査に関連する出願（若しくはその翻訳）又は関連する調査請求を表示することにより、当該先の調査又は請求を特定する。:

国名（又は広域官庁）

出願日（日.月.年）

出願番号

## 第VIII欄 照合欄

この国際出願の用紙の枚数  
は次のとおりである。

1. 願書 ····· 4 枚  
2. 明細書 ····· 20 枚  
3. 請求の範囲 ····· 5 枚  
4. 契約書 ····· 1 枚  
5. 図面 ····· 8 枚  
  
合計 38 枚

この国際出願には、以下にチェックした書類が添付されている。

1.  別個の記名押印された委任状  
2.  包括委任状の写し  
3.  記名押印（署名）の説明書  
4.  優先権書類  
5.  手数料計算用紙  
6.  納付する手数料に相当する特許印紙を貼付した書面  
7.  国際事務局の口座への振込を証明する書面  
8.  寄託した微生物に関する書面  
9.  メレオチド及び/又はアミノ酸配列リスト（フレキシブルティスクリプト）  
10.  その他：

要約書とともに公表する図として 第 図を提示する（図面がある場合）

## 第IX欄 提出者の記名押印

各人の氏名（名称）を記載し、その次に押印する。

宮田金雄



## 受理官庁記入欄

1. 国際出願として提出された書類の実際の受理の日	2. 図面
3. 国際出願として提出された書類を補完する書類又は図面であつて その後期間内に提出されたものの実際の受理の日（訂正日）	<input type="checkbox"/> 受理された <input type="checkbox"/> 不足図面がある
4. 特許協力条約第11条(2)に基づく必要な補完の期間内の受理の日	
5. 出願人より特定された 国際調査機関 ISA/JP	6. <input type="checkbox"/> 調査手数料未払いにつき、国際調査機関に調査用写し を送付していない

## 国際事務局記入欄

記録原本受領の日

様式 PCT/RO/101 (最終用紙) (1994年1月、再版1997年1月)

この用紙は、国際出願の一部を構成せず、国際出願の用紙の枚数に算入しない。

P C T  
手 数 料 計 算 用 紙  
願 告 附 屬 告

受理官庁記入欄

出願人又は代理人の番類記号  
512864WO01

国際出願番号  
受理官庁の日付印

出願人  
三菱電機株式会社

所定の手数料の計算

1.及び2. 特許協力条約に基づく国際出願等に関する法律  
(国内法) 第18条第1項第1号の規定による手数料(注1)  
(送付手数料[T] 及び調査手数料[S] の合計)

95,000 円 T+S

3. 国際手数料(注2)

基本手数料

国際出願に含まれる用紙の枚数 38 枚  
最初の30枚まで .....  
$$B \times 1,300 =$$
  
30枚を越える用紙の枚数 用紙1枚の手数料

55,000円	b1
10,400円	b2

b1及びb2に記入した金額を加算し、合計額をBに記入

65,400 円	B
----------	---

指定手数料

国際出願に含まれる指定数(注3) 3

$$3 \times 12,700 =$$
  
支払うべき指定手数料の数 1指定当たりの手数料  
(上限は11) (注4)

38,100 円	D
----------	---

B及びDに記入した金額を加算し、合計額をIに記入

103,500 円	I
-----------	---

納付すべき手数料の合計

T+S及びIに記入した金額を加算し、合計額を合計に記入

198,500 円	
	合計

(注1) 送付手数料及び調査手数料については、合計金額を特許印紙をもって納付しなければならない。

(注2) 国際手数料については、受理官庁である日本国特許庁の長官が告示する国際事務局の口座への  
支込みを証明する書面を提出することにより納付しなければならない。

(注3) 願書第V欄でレ印を付した口の数。

(注4) 指定数を記入する。ただし、11指定以上は一律11とする。